**2月17日Ｖ・チャレンジリーグⅠ**

**対戦相手　トヨタ自動車サンホークス**

**スタートメンバー　中川、岩井、岡村、新、浅野、横田**

**リベロ芳賀**

**リーグ20戦目はトヨタ自動車サンホークスとの対戦。**

**1セット目、富士通は岩井のサーブから４連続得点を重ねリードを広げる。その後も中川のサービスエースなどで５連続得点し、完全に富士通ペースとなるものの、その後トヨタの粘り強いディフェンスと強力なオフェンスに圧倒され徐々に差を縮められる。それでもセットポイントを先に迎えたのは富士通。中川の気迫のこもった力強いスパイクでチームを鼓舞し最後はトヨタのミスで1セット目を先取する。**

**2セット目、序盤からお互いが得点を奪い合う展開となるが、ブレイクチャンスをものにするトヨタに少しずつ差を広げられる。それでも粘りを見せ、点差を詰めるが、大事な局面でミスを出しリズムを失った結果、20-25でトヨタに奪われてしまう。**

**3セット目、お互いが主導権を奪おうと攻撃的にプレーするものの、お互いに決定打を欠きサイドアウトの応酬となる。局面を打開したのは、リリーフサーバー後藤。相手の間を狙ったサーブでサービスエースを奪うと富士通が２点リードで終盤を迎える。しかし、サイドアウトを取りきれず、デュースにもつれ込む。ここから中川が獅子奮迅のプレーを見せる。次々にスパイクを決め続け、最後もサービスエースを奪い32-30で富士通がこのセットを奪う。後がない富士通は序盤から浅野の力強いサーブでリードを広げる。**

**４セット目、このセットも序盤から一進一退となり抜いては追い付かれ、抜かれては追い付くという試合になる。終盤リードしていたのは富士通。しかし、大事なところでサーブミスとサービスエースを奪われリードを許すと、最後も富士通のミスにより、23-25でトヨタに取り返されファイナルセットへもつれ込む。**

**5セット目、激しい攻防となるが中盤に抜け出したトヨタが流れをつかみ、最後まで抗えず9-15で富士通は敗戦した。**